

活動の記録

11月17日(日) 晴

前夜からの放射冷却現象により、朝は初霜も間近と思える程に冷え込みました。日が昇ると無風で日差したっぷりでしたから林内作業は少し汗ばむ位で快適でした。途中の国道、県道は相次いだ災害から復旧していましたが、島へ入る直前の農地脇では路肩が崩落し害獣除け電柵の支柱が数本宙ぶらりん状態でした。うっかり路肩ギリギリを通ると車の重みと振動で崩落し、車ごと転落の危険がありましたから最徐行の上、出来るだけ山側を通りました。

林内は相変わらず幹折れの大木から垂れ下がった太枝や大小の落ち枝が散乱しているの、足元も頭上も注意して歩かなければなりません。この様な状態ですから、当面は調査などを控えてでも林内整備に力を注ぐ必要があります。

今回は手始めに通路近くの危険な幹折れ大木の伐倒、ホテイ岬に散乱した折れ竹の片付けに汗を流しました。車の通行に危険な路肩崩落箇所には赤旗と黄色のテープで注意喚起すると共に山側の藪を刈払って、路肩を避けて車を寄せ易くしました。

お昼は島外の農地脇に会場を移して、松田シェフご自慢の具沢山煮込み饅頭を頂きました。サービス開始が遅れ気味で正午を大分過ぎたので、早めの朝食の方、肉体労働された方は待ち遠しかったと思います。午後の予定もあり心配でしたが、空腹は最良の調味料か？ 12人で14玉の饅頭を完食、ご馳走様でした。(坂本)

参加は秋元、伊藤、鶴沢、及川、苅米、久我夫妻、栗山、坂本、田島、松田、真鍋の12名でした。



秋晴れの森の空は青く澄み



12名出動してよく働きました

○危険木の伐採整備

台風の被害を受けて幹折れし、遊歩道の歩行に危険を生じている危険木、コナラの大径高木2本の伐採と玉切りおよび太めの落枝の細断を行いました。

伊藤さんの仕切り、苅米さん・久我さんのチェーンソーさばきと達人たちが手際よく作業



高木の伐採は安全第一に



赤いチャップス姿の完全武装で

をする中、チェーンソーのペーパードライバーが一人足を引っ張ってしまいました。私にとっては、久々のチェーンソーの使用機会であり、皆さんにまずい点を指摘・修正いただいたの練習と、かつての実習授業のような充実した時間でした。

その後島内の遊歩道を点検して回りましたが、予想以上に遊歩道にかかる折れて樹皮1枚で持っている幹や不安定に引っかかっている折れ枝が多くありました。処理には相当の活動日を必要とすると思われ、当座の安全確保法としては危険表示と遊歩道の迂回が必要というのが参加者の共通認識でした。(及川)

○ホテイチク林の整備

豊英湖から流されたと思われる流木などとりあえず歩ける環境が出来るように一ヶ所にまとめました。集めた竹は鹿の上陸を防ぐ為、湖の近くに積み上げました。今日も豊英湖を泳ぐ鹿を見ました。(鶴沢)

ホテイチク保護柵内にも倒木や折れたホテイチクが散乱しているので、柵の外に出しましたが、不十分で足の踏み場もないほどです。また保護柵に倒れ掛かった竹を切り取り、柵を立て直しました。(真鍋)



湖岸にシカ上陸防止の竹を積み

○台風の爪跡

・島入り口農道の路肩崩落(画像1) 島へ入る直前の農地脇では路肩が崩落し害獣除け電柵の支柱が数本宙ぶらりん状態です。うっかり路肩ギリギリを通ると車の重みと振動で崩落し、車ごと転落の危険があります。最徐行の上、出来るだけ山側を通行ください。(坂本)



(1) 入口道路路肩崩落

(2) 4コース斜面の崩落

(3) ヒメコマツ保護柵に倒木

(4) ヒメコマツ北、高大径木の倒木

・シカ調査4コースの斜面崩落(画像2) シカ調査4コース入り口斜面の通路に崩落と倒木あり、立ち入り出来ません。下は崖で復旧不能と思われます。シカ調査コースの変更が必要です。

・植生保護柵の倒木による損傷(画像3) ヒメコマツ保護柵の2か所が倒木で倒れていて早期の修復が必要です。他にも保護柵の損傷箇所がありますが、ギャップ更新林は10月に、ホテイチク保護柵は11月に補修されています。他の保護柵にも倒木や折れ枝の架かりがあり、補修が必要です。

・高・大径木の倒木(画像4) 今回島入り口の高木を整備いただきましたが、他に高・大径木の倒木が散見されます。特にヒメコマツ林北側(画像4)は復旧・整備に高度の技術が必要と思われます。

また大小さまざまな折れ枝が方々にぶら下がり、林床にも落下しています。

以上は主に平坦地の状況ですが、シイ・カシ林など斜面林には、より大きな爪痕が残っています(真鍋)

○物置小屋の整理

先の台風15号やその後の大雨で、物置小屋の中は、全ての保管物が水浸しになっています。ライフジャケットや薬箱も水に濡れていたため、救急薬品は補完しました。小屋の建物が傾いているので、ロープで引っ張ってもらいましたがダメでした。トイレも傾いていて補修が必要です。よろしくお願いします。(久我則子)



○昆虫観察記録

秋晴れの素晴らしい天気です。ホソミオツネトンボがふわりふわりと飛び、5頭も見られました。今回も、枝や葉をたたいて落ちてくる虫を探しました。

豊島で初めて見た虫を3種類ご紹介します。

コロギス幼虫 「おー！」今日一番のうれしい出会い。日中は樹上の葉を糸で綴ってその中にいます。コオロギのようなキリギリスのような虫。何と言っても長〜い触角が魅力です。



ホソミオツネトンボ

キトガリキリガ 晩秋に出て、冬には死に絶えてしまう蛾。キリガの仲間は秋に出現するものが多く、秋の楽しみでもあります。

スマトラカモドキバチ 「翅が七色に輝いて、美しいこと！」スマトラからやって来たわけではありません。スズメガの幼虫に寄生。かわいい顔をしてやるものですね。

スマトラカモドキバチ



コロギス幼虫

(他に観察された昆虫)

オカジマイシノミ、モリチャバネゴキブリ、オオカマキリ卵のう、カネタタキ、ニホントビバナフシ、マダラアワフキ?、トサカグンバイ、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、オオセンチコガネ、アカイロマルノミハムシ、ホソアトキリゴミムシ、カサハラハムシの一種、サンゴジュハムシ、ナミテントウ、キンケハラナガツチバチ、トゲアリ、キタキチョウ、クロコノマチョウ (田島)



キトガリキリガ

○おいしい昼食、ごちそうさま!

昼食は、松田さんが特製のうどんを作ってくださいました。燃え上がる炎の上で大きな鍋がぐつぐつ煮立ち、いい匂いがしてきます。山の幸に畑の野菜や肉などの具材がたっぷり入り、最後に葱と、うどんを入れて



でできあがり。ダイナミックな料理ながら繊細な味付け。梅干しとにんにくが丸ごと入っており、美味しさの秘訣はこの隠し味にあるのでしょうか?オリーブオイルが入ることで、風味がよく冷めることはありません。真っ青な秋空のもと、みんなでいただくランチは最高においしかったです。身も心もホッカホカになりました。松田シェフ、ありがとうございました。(田島)

○ナラタケ大発生

千年広場近くの朽ちたコナラの切株を中心にナラタケの大発生が見られました。ギャップ更新林保護柵内にも。

30年近くキノコの観察をしています。滅多に見られない見事な光景でしたから、夢中で撮影しました。興奮しすぎて写真の出来は??です。常に冷静を失ってはいけません。

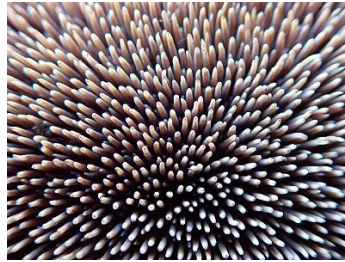
(養分供給源の)ナラタケはこんなに出るのに何故ツチアケビは近年元気が無いのだろうか、ツチアケビ観察に熱心なお方がつぶやいていました。(坂本)



ナラタケの大群生

○コウタケも

ホテイ岬には先月の観察会で見られなかった大型のコウタケが出ていました。ほかにキチチタケ、ハエトリシメジなども。(真鍋)



コウタケ笠裏面の針(秋元)



コウタケ

○松田さんの Face-Book きのこと記事抜粋

今日は10月のような陽気となっていますが、例年の秋のきのこが殆ど見当たりません。

●唯一今年、ナラタケが異常発生。千年広場周りはナラタケだらけ！ナラタケは出汁がしっかりと出て、本当に美味しいきのこ！

●コウタケ・・・マツタケに勝る美味しいと言っても、なかなか信用してくれません。火に焙って醤油をたらしたら(シイタケより旨みとコクがあって、旨い)乾燥物はもっと美味しいぞよ。

●ミネシメジ・・・ハエトリシメジと酷似しますが、こちらは傘の中央部が尖りません。美味しくない。

●ベニタケ属種・・・ケショウハツかニオイコベニタケか？名前の付かないベニタケか？

●クサウラベニタケ・・・いつ見てもショボいなあ～・・・。こんな形なら俺だって食べない。

●ウラベニホテイシメジ・・・これなら、クサウラベニタケと間違うことが有りませんが、と言いたいのですが、噛んで、甘くも辛くもないし、特徴に乏しいのです。柄に鱗片が有ったかな～？君子危うきに近寄らず。

●キチチタケ・・・同心円状の環紋のあり、ヒダをいじめると、乳液を出すのが、チチタケ属の特徴。味も全くない「不食」のきのこです。

●フーセンタケの仲間・・・フーセンタケは名前が付かないものが一杯。従って食べない。

君子危うきに近寄らず。

ハエトリシメジ、フクロタケ、オチバタケも混ぜ返しに生えていました。

お知らせ

○12月の活動日；12月8日(日) 9:30 清和自然休養村センター(直売所) 駐車場集合。

最優先で復旧作業(森林整備、物置整備)を実施する。伐採が年明けになる部分は、立ち入り禁止テープで安全に歩行できる迂回路を明示する。

年度当初計画されたいいたシカ個体数調査、巨木林調査は、復旧作業との関連で、安全の確保のできる実施可能な範囲で実施する。

参加者は全員ヘルメット着用のこと。チェーンソーお持ちの方は持参ください。